

## 老後の理想の住まいに関するアンケート調査

— 理想の住宅、7割が「ワンフロア」に関心 男性は平屋派、女性はマンション派 —

2006年9月21日  
株式会社住環境研究所

積水化学工業株式会社 住宅カンパニー (プレジデント: 東郷逸郎) の調査研究機関である株式会社住環境研究所 (所長: 白崎 明) はこのほど「老後の住まい」に関するアンケート調査を実施しました。

### ■調査の概要

調査目的: 中・高齢層の住まいに関する意識と今後の意向調査

対象: 全国の55~65歳の男女500名

調査方法: Web アンケート

調査時期: 2006年8月3~6日

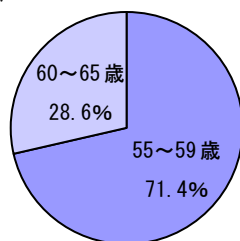
### ■アンケート回答者の社会属性

年齢: 50歳後半71.4%、60歳前半28.6%

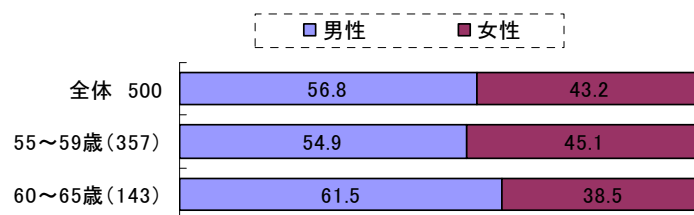
性別: 男性56.8%、女性43.2%

家族構成: 「夫婦+子」39.2%、「夫婦2人」30.0%、「1人住まい」15.6%、「夫婦と親」4.8%、「夫婦と親と子」3.2%、「夫婦と子と孫」3.4%、「その他」3.8%

■年齢



■性別



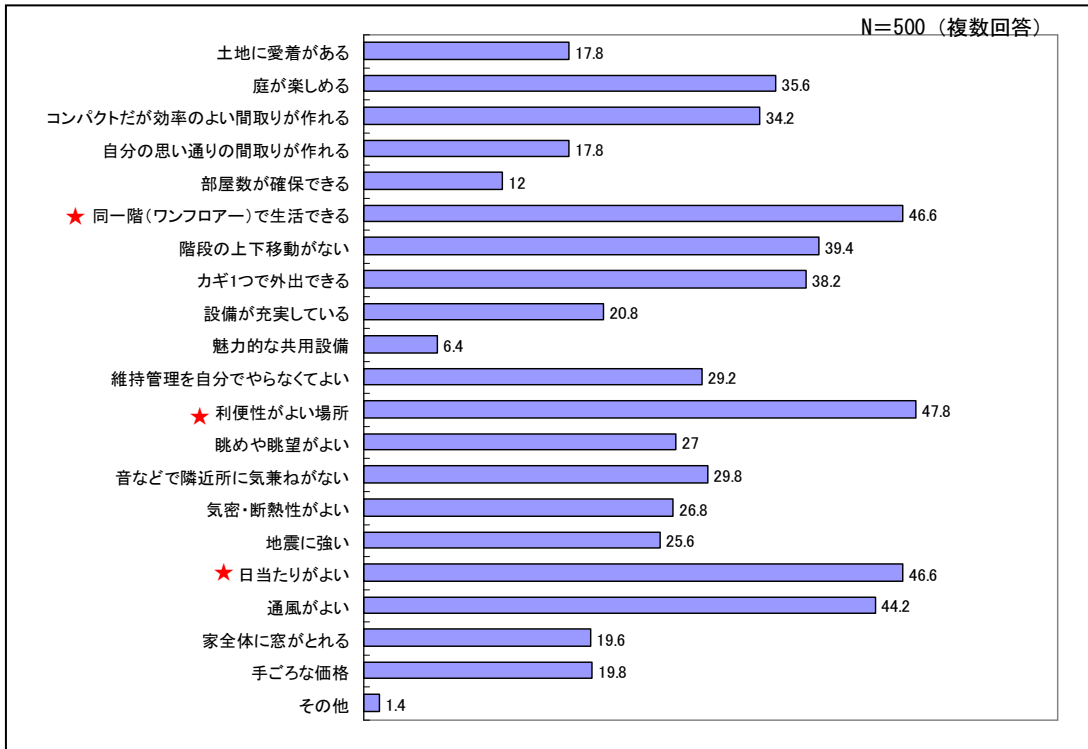
※グラフの数字は%を示しています。

※今回の調査では、「そうしたい (大に関心がある)」+10点、「ややそうしたい (やや関心がある)」+5点、「あまりしたくない (あまり関心がない)」-5点、「したくない (関心がない)」-10点、「わからない」0点として加重平均した数値も算出しています。

## ■調査結果の概要

### 1. 老後の住まい選択の重視点 — 利便性が良い場所でワンフロア—

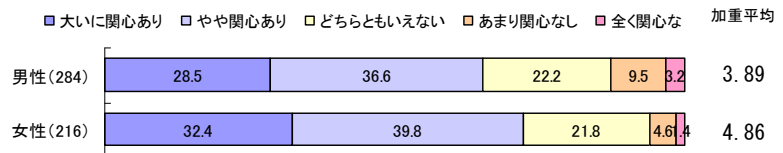
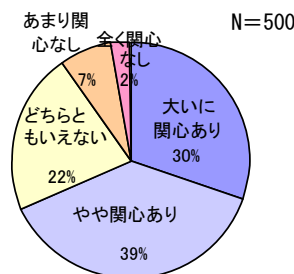
老後の住まい選択重視点の第1位は「利便性が良い場所」(47.8%)、第2位「同一階(ワンフロア)で生活できる」と「日当たりが良い」が共に46.6%、第4位「通風が良い」(44.2%)、第5位「階段の上下移動がない」(39.4%)、「カギ1つで外出できる」(38.2%)と続いています。



<老後の住まい選択の重視点>

### 2. 同一階(ワンフロア)への関心

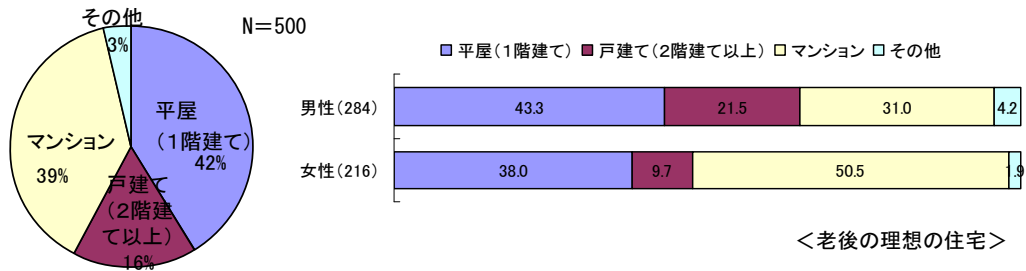
ワンフロア(同一階配置)についての関心は、「大いに関心」、「やや関心あり」を合計すると実に69%が関心を持っていますが、男女別では女性のほうがワンフロアに対する関心が強く、加重平均で見ると男性3.89点に対して女性4.86点と女性のほうがワンフロアニーズは高いといえます。



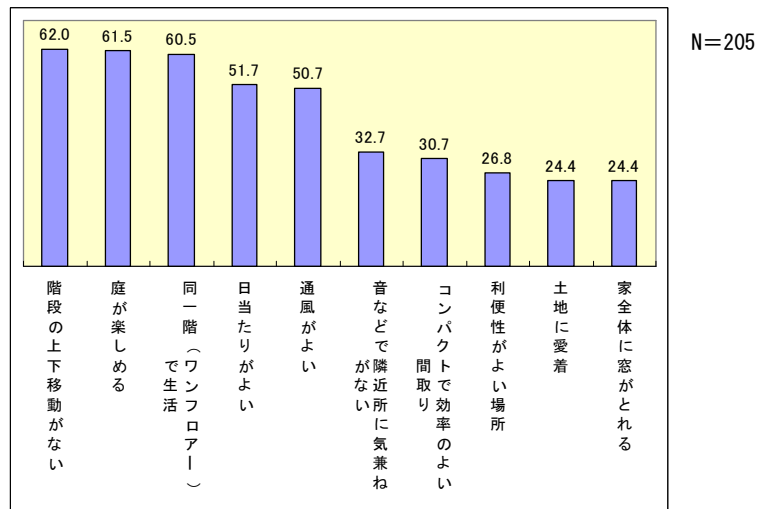
<ワンフロアへの関心>

### 3. 老後の理想の住宅 — 男性は平屋派、女性はマンション派

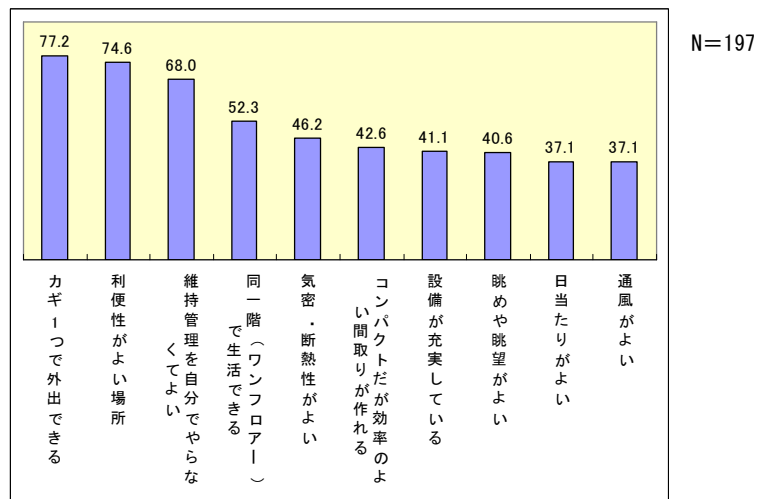
老後の理想の住宅は平屋が 42%、続いて、戸建て（2 階以上）16%で平屋とマンションが拮抗しています。老後の住宅は上下階の移動がないワンフロアの暮らしを求めていることが判りますが、男性と女性では理想の住宅は異なります。男性は平屋派 43.3%（女性 38.0%）に対して女性はマンション派 50.5%（男性 31.0%）。現在もっともポピュラーな 2 階建ての戸建ては意外に不評で、女性の支持はわずか 9.7%（男性 21.5%）しかありません。



平屋を選択した人は「上下移動がない」、「ワンフロアの生活」、「日当たりや通風」、「庭を楽しむ」、「コンパクトで効率の良い間取り」などをメリットにあげていますが、マンションを選択した人は、「カギ1つで外出」、「利便性」、「維持管理」、「眺めや眺望」、「気密断熱性」などをメリットにあげています。戸建て（2階建て以上）を老後の理想住宅としてあげた人は「日当たり」、「庭が楽しめる」、「土地への愛着」、「部屋数確保」などに魅力を感じています。



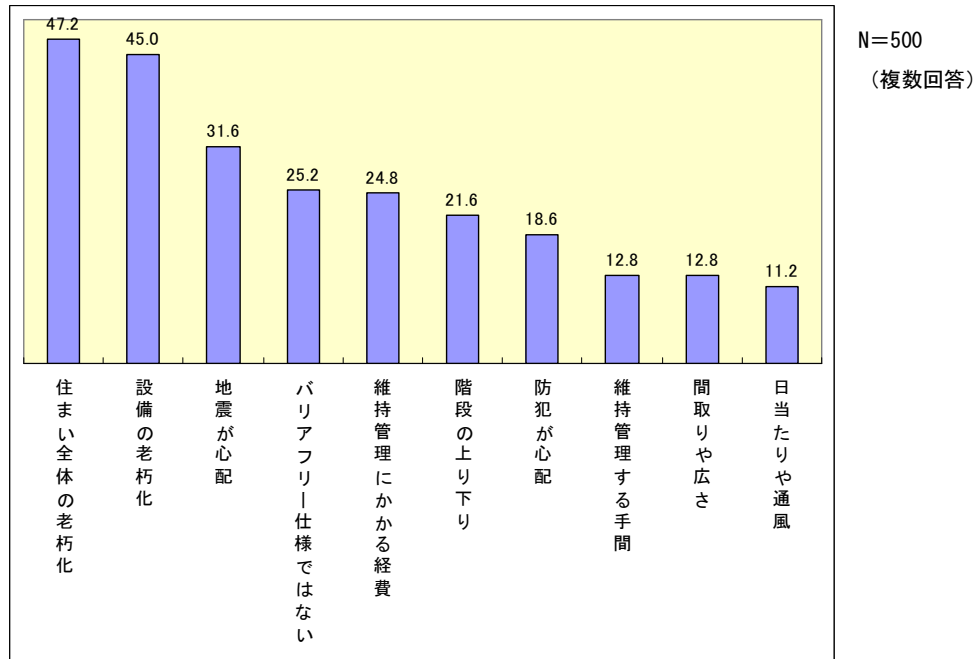
＜平屋（1階建て）のメリット＞



＜マンションのメリット＞

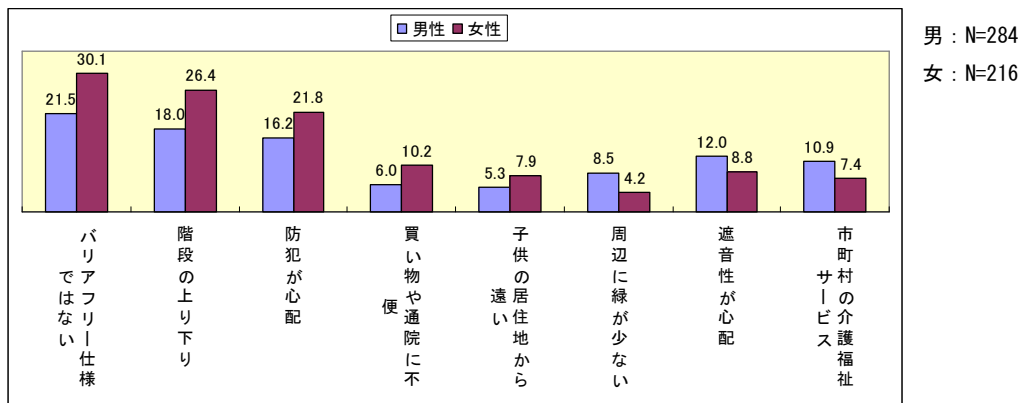
#### 4. 現在の住まいの不安や心配点 — 老朽化や地震が上位

現在の住まいに住み続けるとした場合の不安や心配点の第1位は「住まい全体の老朽化」が第1位(47.2%)、続いて「設備の老朽化」(45.0%)、「地震が心配」(31.6%)がベスト3。続いて「バリアフリー仕様でない」(25.2%)、「維持管理にかかる経費」(24.8%)、「階段の上り下り」(21.6%)、「防犯が心配」(18.6%)、「維持管理する手間」(12.8%)、「間取りや広さ」(12.8%)、「日当たりや通風」(11.2%)など。



<現在の住まいの不安や心配点>

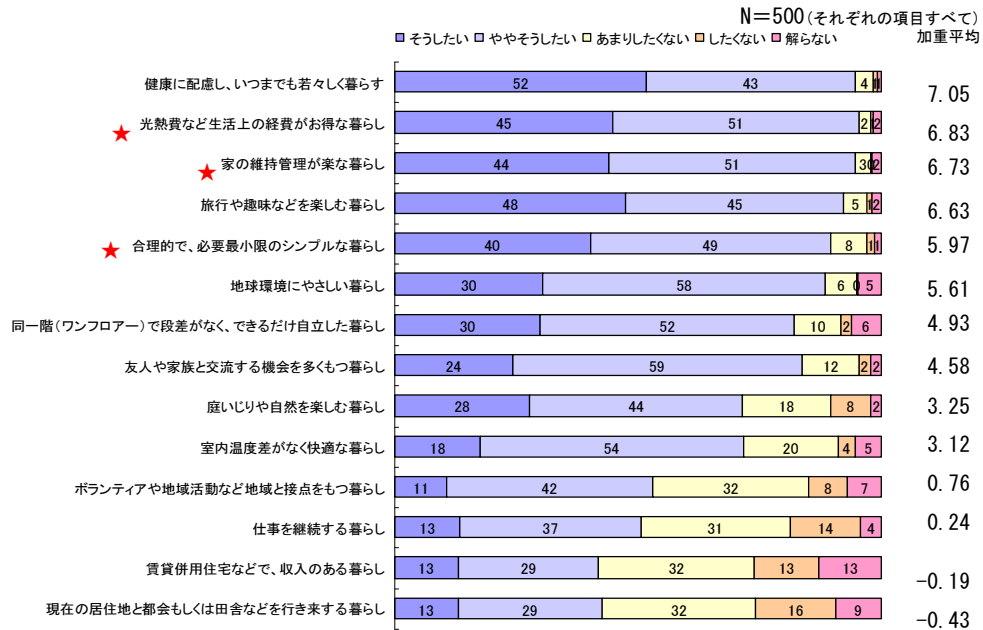
また、男女で差がある項目を見ると、「バリアフリー仕様ではない」「階段の上り下り」「防犯が心配」は女性の方が不安視していて、「周辺に緑が少ない」「遮音性が心配」はより男性が不安視しています。



<現在の住まいの不安や心配点> (男女で差のある項)

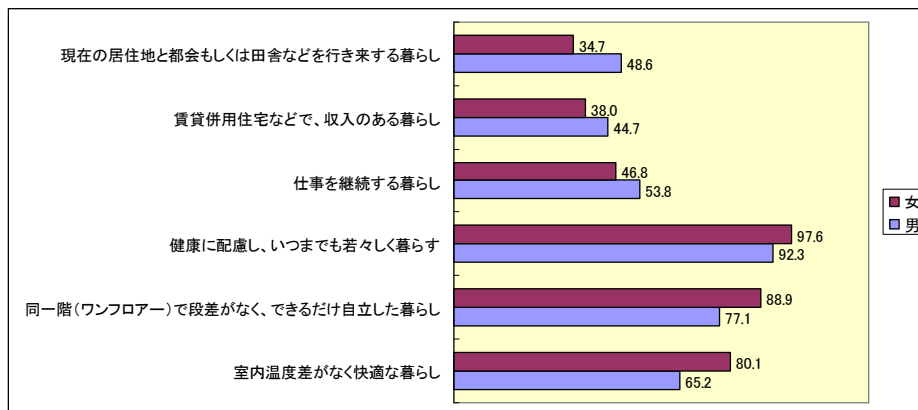
## 5. 老後の理想の暮らし方 — 経済的な側面を重視

老後の理想の暮らし方の第1位は「健康に配慮し、いつまでも若々しく暮らす」(7.05点)、第2位「光熱費など生活上の経費がお得な暮らし」(6.83点)、3位「家の維持管理が楽な暮らし」(6.73点)、以下「旅行や趣味などを楽しむ暮らし」(6.63点)、「合理的で必要最小限のシンプルな暮らし」(5.97点)と経済的な側面を重視しているのが注目できます。



<老後の理想の暮らし方>

男性と女性では老後の理想の暮らし方は異なります。「そうしたい」「ややそうしたい」を足すと、女性では「温度差がない快適な暮らし」「ワンフロアの段差のない生活」「健康で若々しく」の項目が全体平均より高く、男性は「仕事継続」「田舎・都会を行き来する生活」の項目が高くなっています。



<理想の住まい> (男女で差のある項目)

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。  
 株式会社住環境研究所 市場調査研究室 嘉規(かき) TEL. 03-3256-7571  
 〒101-0041 千代田区神田須田町1-1 三井あさひビル